

氏名： 大塚 常樹 (OTSUKA Tsuneki)  
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系  
職名： 教授  
専門分野： 日本近現代詩歌、20 世紀前半の文学、文学理論  
E-mail： otsuka.tsuneki@ocha.ac.jp

#### ◆研究キーワード / Keywords

昭和前期文学／近現代詩／宮沢賢治／文学理論／物語論

#### ◆主要業績

- ・国際シンポジウム「詩人黄エイと多文化間アイデンティティ」  
発表「黄 &#31855; と宮沢賢治」 中国重慶市四川外語学院大学 2008 年 10 月 25 日  
集中講演「宮沢賢治のメッセージー天上と地上の関係式」 中国重慶市四川外語学院大学 2008 年 10 月 26 日
- ・論文「十力の金剛石」と「銀河鉄道の夜」の比較分析  
「賢治研究」(宮沢賢治研究会)104 号 1 頁－13 頁 2008 年 6 月 1 日
- ・ビブリオグラフィ作成「宮沢賢治研究 annual」18 号 2008 年 6 月 1 日

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

- ①日本近代文学
  - ②日本近現代詩
  - ③宮沢賢治
  - ④文学理論 (特に物語論・修辞論)
- ①大正期から昭和 10 年代にかけての日本文学で特に、梶井基次郎や川端康成、太宰治、谷崎潤一郎などが関心対象。
- ②特に萩原朔太郎や室生犀星、草野心平、伊東静雄等の大正後半から昭和前期、また谷川俊太郎、高階紀一、吉野弘などの現代詩。
- ③仏教、生命主義哲学、天文学、植物学、宝石学、進化論、音楽、美術、政治経済など幅広い視野から分析。
- ④物語の構造分析と情報操作、加えて対読者戦略などに基づくコミュニケーションとしての文学テキストのあり方。

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

- ①近代日本文学特殊研究
- ②近代日本文学演習
- ③日本文学
- ④卒論指導・論文指導ゼミ
- ⑤大学院の演習

- ①主に小説を題材に、題名や人名、語り手の設定、情報操作、物語の基本構造、修辞法などを用いて、科学的なメッセージ抽出の方法を教授している。
- ②演習の発表のチャート表と物語論の冊子(自作)を参考に、昭和初期に活躍した谷崎、川端、太宰、芥川などの作家のテキストを分析し、新しいメッセージの抽出を試みる。
- ③川端康成「伊豆の踊り子」と志賀直哉「網走まで」を用いて、物語り論に基づく分析を行う。質問が書き込まれた書き込み用紙に生徒は考察を書き込んでいく。
- ④卒論と修論提出に向けて通年のゼミを開催し、生徒は課題とその成果表を毎回作成しながら、論文を作成していく。秋に卒論発表ゼミを開催する。博士課程の学生向けには、文学理論の輪読と論文作成のために別のゼミを開催している。
- ⑤毎年文学理論書(08年度はデイビット・ロッジの「小説の技巧」)に基づくレポートと、それを応用した文学テキスト分析の二本立てで演習を行っている。

## ◆研究計画

最近大学の業務が多くなかなか研究が進みません。

学生諸君の基礎知識も減ってきていますし、授業にも手間がかかるようになってきています。

私は文学テキストを擬似コミュニケーションとして位置づけ、その約束事の分析に興味があります。

今後はこの分野をさらに深めていきたいと思っています。

大学院では文学理論書を積極的に学生と読んでいます。

哲学的な理論ではなく、具体的な分析方法こそが重要だと思いますので、こうしたことに興味ある方々との共同研究ができれば幸いです。

## ◆メッセージ

文学テキストは擬似コミュニケーションです。

コミュニケーションには共通の約束事があります。文法や語彙はもちろん、話題や、前提となる価値観、共通構造(典型的なパターン)、話をする目的や場所、立場、要求する基礎知識、想定読者なども考えなくてはなりません。コミュニケーションが最もうまく成立するためにはこれらの情報の共有が不可欠なのです。国語の教材は個人が自由に読んでいい、という議論は間違いです。コミュニケーションがうまくいって(誤解がなくて)初めて、そのメッセージや前提となっている価値観、発信した者への評価ができるのです。また文学テキストは一つの情報戦略でもあります。天才探偵シャーロック・ホームズ自身でなくて、親友ワトソン博士が物語を語るという形式がとられているのはなぜか、考えたことがあるでしょうか。ホームズ自身が語っていたら、ホームズの変装や失踪のおもしろさはなくなってしまうでしょう。さらにこの物語の作者はワトソンでなくてコナン・ドイルです。複雑な形式は情報戦略以外には考えられないのです。